

令和8年度第1回葛飾区環境審議会 議事録要旨

【日時】 令和8年5月26日（火） 14時00分～16時10分

【会場】 葛飾区役所7階 701・702会議室

【出席委員】 崎田委員、藤野委員、矢後委員、赤澤委員、尾澤委員、沢崎委員、下井委員、霜村委員、関委員、山廣委員、中村委員、武者委員、小野委員、西出委員、上原委員、松田委員、向山委員

【欠席委員】 石戸委員、鳥山委員

【事務局】 木下環境部長、疋田環境課長、新谷みどりと花のフェア担当課長、皆川リサイクル清掃課長、山岸清掃事務所長、秋元建築課長、長谷川、松丸、山岡、佐藤

【次第】

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 会長の選任
- 4 副会長の指名
- 5 委員自己紹介
- 6 議事
葛飾区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について
- 7 閉会

発言者	審議内容
事務局 (環境課長)	<u>1 開会</u> 本日はご多用中の折、第1回葛飾区環境審議会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。 会長が決定されるまでの間、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、始めに区長の青木よりご挨拶を申し上げます。
青木区長	<u>2 区長挨拶</u> 本日はお忙しい中、環境審議会の委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。これまで区の環境施策に関わってこられた方、公募で委員になっていただいた方、学生さんも含め、いろいろな方が今回委員になっていただきました。今後、しっかりと議論したうえで、葛飾区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定していければと思います。 さて、近年、地球温暖化が大変進んでいることは、多くの皆さんが認識していることかと思えます。葛飾区では、6年前に東京都内の他の自治体に先駆けてゼロエミッション宣言をさせていただき、地域の皆さんと連携しながら進めているところです。もちろん、これからも努力をしていかなければ、ゼロエミッションの実現は難しくなります。23区においては、令和5年に「2050年『ゼロカーボンシティ特別区』の実現に向けた特別区長会共同宣言」を行い、23区と連携し、取り組んでいます。 今回改定する葛飾区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）ですが、5年ごとに計画を改定していく予定です。環境に対する取組については、区民全員、企業の方も含めて関わりながら進めていく必要があります。一人ひとりがどのような形で関わっていけるかを考えながら、進めていく必要があります。 子育て施策や安全で安心なまちづくり、再開発等、いろいろな施策を進めております。しかし、その基盤となる地球環境が崩れてしまえば、施策も土台から進めていくことができなくなります。ぜひ、地球環境を守るといこともしっかりと並行して進めていきたいと考えておりますので、お願いを申し上げまして、挨拶とさせていただきます。
事務局 (環境課長)	<u>3 会長の選任</u> 委員の皆さま方への委嘱につきましては、お手元の委嘱状をもって就任のお願いにかえさせていただきますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。 次に会長の選出をいたします。葛飾区環境審議会規則第3条では、会長は学識経験者の中から委員の互選によって定めるとしていますが、どなたかご推薦、ご意見ある方はいらっしゃいますか？
委員	前期間の審議会でも会長を務められた崎田委員に引き続きお願いしたいと考えます。

事務局 (環境課長)	ただいま、崎田委員の推薦がございましたが、皆様よろしいでしょうか。 (一同賛成) それでは、会長に就任されました崎田会長からご挨拶をお願いいたします。
会長	ご推薦いただきありがとうございます。前回の環境基本計画においても、多くの方々のご意見とともに策定いたしました。今回区域施策編の改定についても皆様のご意見を反映しながら策定していきたいと考えています。 私自身も、暮らしや地域の視点で、長年、環境分野における持続可能な地域づくりなどを重視しながら歩んでまいりました。地球温暖化対策、循環型社会づくり、自然共生、この全体のバランスでどのように地域社会を形成していくか。そういったことを長年考え、できるだけ地に足がついた政策形成の提案などもさせていただきました。開催中の全国みどりと花のフェアかつしかの実行委員長も仰せつかっております。葛飾区の地域の皆様は、自然だけでなく、地球温暖化、循環型社会等、自分たちから地域に関わっていく思いの強い方、団体、企業の皆様が大勢いらっしゃることに、勇気をいただいております。 今回の審議会も様々な分野の方がいらっしゃいますが、東京理科大学の学生さんもあり、次世代の方のご意見もしっかり伺いながら進めていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
事務局 (環境課長)	<u>4 副会長の指名</u> 次に、副会長の選任になります。 「副会長は、会長が指名する」ことと定められております。 崎田会長、よろしくお願いいたします。
会長	では、副会長の指名をさせていただきます。 公益財団法人地球環境戦略研究機関 IGES の上席研究員であり、地球温暖化対策の研究をなさっている藤野純一委員にお願いしたいと考えております。
事務局 (環境課長)	ありがとうございます。それでは、副会長は藤野委員にお願いしたいと思います。 では、藤野副会長からご挨拶をお願いいたします。
副会長	公益財団法人地球環境戦略研究機関 IGES の藤野と申します。重要なお役目を頂戴しました。葛飾区が日本、そして世界のトップランナーとしてかがやくまちになってほしいと思っています。よろしくお願いいたします。
事務局 (環境課長)	<u>5 委員自己紹介</u> ただいま会長、副会長からご挨拶いただきましたが、第1回ということですので委員の皆さまにも自己紹介をお願いしたいと思います。その場でご起立いただき、簡単に自己紹介をお願いいたします。

事務局 (環境課長)	<各委員 自己紹介> ありがとうございました 続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。 <事務局紹介> 以上、よろしくお願いいたします。 <u>6 議事</u>
事務局 (環境課長)	それでは、ここからは崎田会長に議事の進行をお願いいたします。
会長	では、ここからは私が進行させていただきます。 まず、議事に入る前に、事務局より資料の確認と連絡などがありましたらお願いいたします。
事務局 (環境課長)	資料の確認をさせていただきます。(配布資料の説明) 資料で足りないものはございませんでしょうか。 次に議事に入る前に、審議会の会議録及び傍聴について確認をさせていただきます。 本審議会では、会議録を作成いたしますので、委員の方々のご発言を録音させていただきますことをあらかじめご了承ください。 また、葛飾区環境審議会規則第4条において、審議会は公開すると規定しておりますので、会議録を公開するとともに、審議会の傍聴を可能としております。なお、会議録への記載に当たっては、発言者の氏名は記載しない形での公開を考えております。よろしくお願いいたします。
会長	まず、事務局から提案されました、会議録等の公開について、公表する場合に発言者の名前は記載しないということで異議ございませんでしょうか。 <異議なし> ご異議がないということで、会議録等の公開については、発言者の名前は記載しないということで決定させていただきます。 次に、審議会の傍聴を可能としておりますので、ここで傍聴人にお入りいただきます。本日は2名の方が傍聴をされますので、よろしくお願いいたします。 それでは、本日の議事「葛飾区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局 (環境課長)	議事 葛飾区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について (説明資料に基づき、説明した。)
会長	それでは、ただいまご説明しました内容に関しましてご質問やご意見がございましたらお願いいたします。
会長	資料2の7ページについて、葛飾区は温暖化対策に精力的に取り組んだ結果、令和5年度は2013年度比で26%削減できた。しかし、目標である2030年度に2013年度比50%削減に向けては、令和5年度から7年間で32%の削減が必要であり、よりスピード感を持って温室効果ガスの削減に取り組む必要があるという認識でよいでしょうか。
事務局 (環境課長)	これまでの取組+αでの削減が必要と認識しております。新たな取組についてもご意見をいただければと思います。
委員	温室効果ガスの排出量について、葛飾区における温室効果ガスの排出量の実績値ではない点に留意すべきと考えています。具体的な計算方法について教えてください。
事務局 (環境部長)	削減量の数値は、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」に基づき、東京都の温室効果ガスの排出量を用いて地域特性(緑が多い地域、オフィスビルが多い地域等)に応じて按分の上、計算しています。これ以外の計算方法について現在のところ適当な計算方法はない状況でございます。
副会長	現在の計算方法では、葛飾区のように温室効果ガスの排出削減に精力的に取り組んでいる自治体が反映されづらい計算方法は課題としてあります。これは区の問題ではなく、国が排出量を検証できるようなデータの提供等をすべきであると考えます。委員の意見は重要な指摘だと考えます。
委員	アンケート調査の概要について教えてください。
事務局 (環境課長)	対象は区民1200人、事業者は400事業者であり、対象に応じた地球温暖化対策の具体的な取組・頻度に関する設問を設定しています。アンケート調査の結果については次回環境審議会で提示させていただきたいと考えています。
委員	設問内容は環境審議会で議論すべきと考えます。
委員	私も設問内容は、環境審議会で議論すべき内容と考えます。結論ありきの設問になっていないか精査する必要があるのではないのでしょうか。

会長	アンケート調査票については事前に事務局から学識経験者を対象に共有があり、フィードバックを踏まえ、修正していただいている状況です。今の段階で委員から追加の設問等の要望があればご意見いただければと思います。
委員	葛飾区に南葛 SC というサッカーチームがあり、現在 J リーグ入りを目指しているチームだが、J リーグに昇格するための要件の一つに気候変動に関する取組の実施があります。これは、気候変動により年間 40 試合が中止となっていることが背景にあるためと考えられます。 区民あるいは事業者が地球温暖化に対する取組を行っているかもしくはは行いたいかを設問として追加し、具体的な温暖化対策を把握できるようにすればよいと思います。
会長	武者委員のご意見も配慮していただければと思います。
事務局 (環境課長)	本審議会後にアンケート調査票を各委員にお送りさせていただきますので、ご意見いただければ幸いです。スケジュールが限られていることからすべて反映できるというお約束はできませんが可能な限り対応したいと思います。
会長	各委員宛てに調査票を送付していただくということですので、委員の皆様より、何かしらご意見があれば指摘していただければと思います。 その他に質問はございますか。
委員	資料 2 の 1 ページに地球温暖化の状況に掲載の「産業革命前」との記載ですが、この時期で正しいのか教えてください。 葛飾区は単身世帯が流入しており、単身世帯は一人あたりのごみの量が増加し、これが温室効果ガスの排出にもつながっています。立石駅北口の再開発により、ますます単身世帯が増えると予想されます。このような背景を踏まえ、計画を策定すべきと考えます。 資料 2 の 5 ページの再生可能エネルギーの発電量について、バイオマス発電は清掃工場での発電量という認識でよいでしょうか。数値が同じ値で推移しているのが疑問に感じます。 資料 2 の 7 ページ、令和 5 年度における温室効果ガス排出量の削減量は平成 25 年度比で 26% 減となっていますが、製造業が衰退していることが背景にあると思います。削減量の減少要因が分かるような整理や時系列での表記があればよいと思います。 資料 2 の 8 ページ、温室効果ガス排出量のうち廃棄物部門の定義について教えてください。
事務局 (環境部長)	今後、資料の表現方法やグラフ等での見せ方については留意いたします。時系列での掲載も検討いたします。

	バイオマス発電について、環境省による算出結果であり、発電総量に何らかの係数を掛けた上で計算しているものと考えられます。葛飾清掃工場の発電は、東京二十三区清掃一部事務組合が統括しており、おそらく 23 区の清掃工場で発電された数値を係数で割っているものと考えられます。ですので、葛飾清掃工場単体の発電実績値ではないと考えられます。ただ、葛飾清掃工場は葛飾区以外のごみも焼却しているため、その点は留意する必要があると考えます。 廃棄物部門の内訳は、廃棄物が温室効果ガスを排出するものとして計算した数値となっています。
委員	昨今の社会情勢による化石燃料の高騰及び産業衰退により、温室効果ガスが削減される可能性がある。昨今の社会情勢からも分かるとおり、今後は化石燃料に依存しない再生可能エネルギーの活用に、さらに取り組んでいくべきと考えますが、区としての考えを教えてください。
事務局 (環境課長)	再生可能エネルギーの重要性については認識しております。一方で、区民の生活や企業の経済活動を担保した上で、化石燃料に依存しない取組を区として検討していきたいと考えております。
委員	施策の進捗状況に対する評価で「△」となっているものがいくつかありますが、「公共施設の改修における ZEB 化」の達成見込みを教えてください。
事務局 (建築課長)	公共施設の ZEB 化については、公共施設の改修にあわせて高効率・高断熱に寄与する設備更新に取り組んでいる状況です。そのため、一気に改修することは難しい状況です。機器関係は高効率化が進んでいる一方で、高断熱化の進捗に課題があるため、対応していきたいと考えております。
副会長	地球温暖化対策の計画となると、やはり温室効果ガスの削減量に注目が集まりがちですが、エネルギー効率を高めれば、工場の生産性向上にもつながるし、断熱の住宅は健康によい影響がある。温暖化対策をすることによる恩恵という観点も併せて、計画に反映していければと思います。
会長	今の意見は重要と考えます。なかなか区民の皆様の恩恵というのが分かりづらいこともある。温暖化対策をすることが個人の幸せ、豊かな暮らしにつながるということも周知していく必要があると考えます。
委員	私どもの組織では、個人が行った行動にどれくらいの効果があったのかを数値化する研究をしています。先ほど国の指標を使っているという話がありましたが、葛飾区独自の指標を設定し、目標に向かって多くの人に参加してもらう取組ができればいいと思いました。

会長	葛飾区では建築士等が連携し、住宅断熱化を進めています。このような地域の取組が「葛飾らしさ」として計画に反映されると良いと思います。
委員	施策の進捗状況について、行動主体や寄与度、達成率等の根拠や成果を併せて整理されていると区民にとっても自分事化しやすく理解されやすいと思います。
委員	花壇活動が計画内でどのような位置づけとなるか、区民としてどのような行動をできるか考えていきたいと思います。
委員	バイオマス発電が再生可能エネルギーの多くを占めているため、バイオマス発電を拡大すると良いのではないのでしょうか。 東京理科大学では、電気の使い過ぎでエアコン等に使用制限がかかることがあるため、大学としてできることがあれば意見が欲しいです。
会長	バイオマス発電は、清掃工場でのごみの焼却による発電であるため、バイオマス発電量が増えるということはごみの量が増えるということにつながり、一概にも望ましい状況ではないことに留意する必要があります。しかしながら、ごみの量を増やさずにバイオマス発電を含め、効率よくエネルギーを活用していくとよりよくなると考えます。バイオマス発電の算出方法、電力量の割合等、資料に補足していただければと思います。
事務局 (環境課長)	各委員からのご意見を踏まえ、資料の示し方を検討してまいります。
会長	大学での取組という意見ですが、何年か前に都内の大学で CO2 削減コンテストの実施を環境省に提案したことがあります。実現には至っていない状況です。
委員	太陽光発電の導入以外での用途（維持管理や廃棄等）の助成金がありますか。太陽光発電は壊れやすさ等の維持管理面で導入が敬遠されることがあると聞いたことがあるので、確認です。
事務局 (環境課長)	まずは導入していただくために、現在は導入にのみ助成をしている状況です。
事務局 (環境部長)	太陽光パネルは物理的な衝撃が無い限りは壊れないという認識です。PCS（直流から交流を変換する機器）が壊れやすいという話は聞いたことがあります。
委員	中小企業や零細企業は脱炭素に関する取組をしていない印象です。区民が実感できるような施策があると分かりやすいと思います。

委員	先ほどの意見にあったように産業が衰退したから減っているという状況は良くないと思います。何か区民でできること、マイカーの利用抑制等の区民が取り組みやすい具体的な取組が整理されているとよいと思います。
委員	区民参加型のイベントでの発信により、温室効果ガス排出量の削減が区民のより良い暮らしに繋がることや区民一人ひとりの活動のきっかけになる施策があればよいと思います。
委員	施策の進捗状況や CO2 排出量など特別区（特に隣接する区）と葛飾区を比較した資料があるとよいと思います。葛飾区は他の区と比べてどのレベルにいるのかを知りたいです。
委員	会社経営と両立した上で温室効果ガスの削減に向けた取組を行っていきたいと考えています。バス事業者は公共性の高いサービスを担う立場なので、葛飾区の計画とともに意向に沿う形で温暖化対策を進めていただければと思います。
委員	消費者としてごみの分別やリサイクル可能な素材を積極的に活用していきたいと思います。
副会長	エネルギーの効率化を実施しないことによるリスクの視点を交えながら計画策定を行っていただきたいと思います。また、リソースが限られる中でキーパーソンとの連携が重要になると考えます。
会長	今後の検討にしっかりと生かしていきたいと思います。 本日の議事はこれですべてとなります。 事務局から、その他連絡事項等はございますか。
事務局 (環境課長)	第2回環境審議会は令和8年7月21日（火）に開催いたします。開催通知については、概ね1か月前までに送付させていただきます。 ここで、これまでの審議会でもご報告させていただきました「全国みどりと花のフェアかつしか」について、令和8年5月16日（土）から令和8年6月14日（日）まで開催されています。こちらについて、みどりと花のフェア担当課長の新谷より、イベントの概要について紹介させていただきます。
事務局 (みどりと花のフェア担当課長)	<概要紹介>

事務局 (環境課長)	事務局からの事務連絡は以上です。 よろしくお願いいたします。
会長	本日はご参加いただき、ありがとうございました。委員から、さまざまなご意見があったかと思います。アンケートについては、後ほど委員の皆様へ送付していただくことになっております。次回以降も、活発に意見交換していただければ幸いです。
会長	<u>7 閉会</u> それでは本日の環境審議会を終了とさせていただきます。 ありがとうございました。